
南京における 廃棄事業の概要について



平成22年9月2日(木)
第5回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

南京における廃棄事業 ～これまでの経緯～

- ・平成13年11月 南京市での有毒発煙筒発掘・回収開始
- ・平成19年04月 日中首脳会談で移動式処理設備の導入決定
- ・平成20年04月 日中外相会談で最初の廃棄処理を南京で行うことで一致
- ・平成21年01月 廃棄処理設備の製作・運転等に関する入札・契約
- ・平成21年12月 廃棄処理設備の据付・組立及び輸送に関する入札・契約
- ・平成22年10月 南京での廃棄処理開始予定

※ じ後 武漢で廃棄処理予定

南京における廃棄事業 ～発掘・回収、建設の状況～




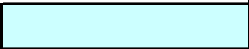

南京での発掘・回収の状況(平成13年11月)



建設の状況(平成22年5月)



南京における廃棄事業 ～今後の予定～

| ● | 8月 | 9月 | 10月 |
|---------------------------------|---|---|---|
| 据付・組立 |  | | |
| 試運転① 機械的作動試験 |  | | |
| 補助爆薬の爆破試験 | | ↔ | |
| 試運転② 設備機能確認試験 (模擬弾A使用) | |  | |
| 試運転③ 要求性能確認試験 (模擬弾A及びB使用) | |  | |
| 行事 | | ☆処理事業関連行事 | |
| 処理開始 | | | ☆総合訓練等  |

国
慶
節

南京における廃棄事業 ～廃棄処理設備概要～

南京移動式処理設備概要

【爆破処理工程】

●制御爆破方式

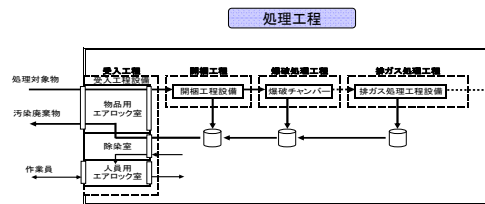
砲弾等の処理対象物と爆薬を爆破チャンバー内にセットし、外部信号により爆破させることにより、砲弾等を破壊すると同時に内部の化学剤を分解処理する方式。

【爆破処理装置概要】

●爆破チャンバー（2基）

- (1) 外筒内径 直径約2.6m×長さ約4.8m 内容積 約26m³
- (2) 主要性能・仕様 耐爆性能 TNT換算45kg
(爆破チャンバー本体については、ハルバ嶺以外の処理対象物を全て処理可能な耐久性を有する。)

【受入・開梱・
爆破準備工程】
保管庫から砲弾等の処理対象物を受入、保管容器（金属容器）から開梱し、爆薬（補助爆薬）を巻き付けて、爆破チャンバー内へセットするための準備作業を行う。



【排ガス処理工程】

爆破処理により発生した排気ガスを、大気中に排気可能な排出基準（環境基準）まで清浄化する工程。

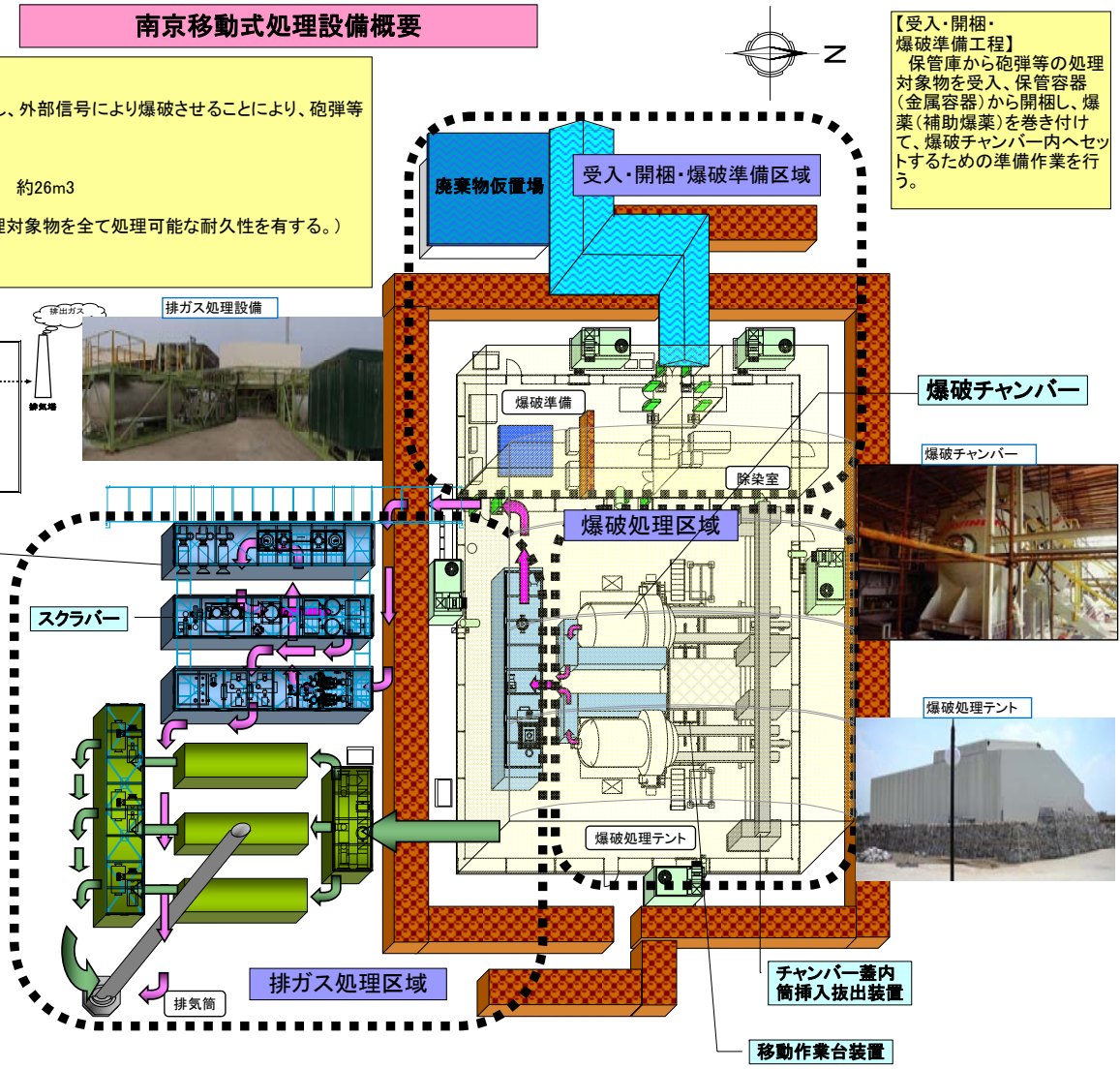
【排ガス処理装置概要】

●オキシダイザー

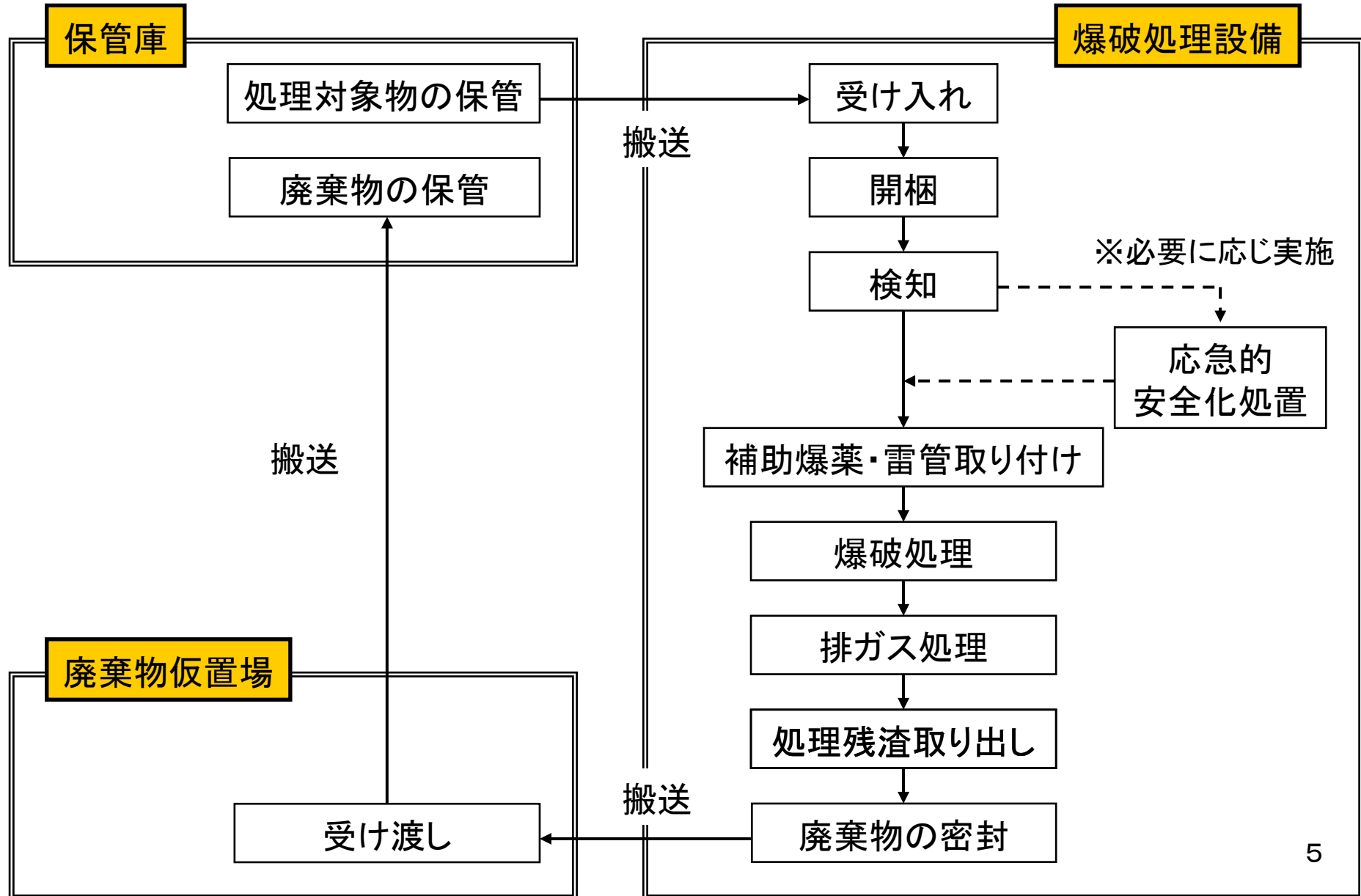
- (1) 原理 制御爆破チャンバー内の爆発生成ガス（主に一酸化炭素と水素ガス）をプラズマにより酸化し、主として二酸化炭素ガスと水蒸気に転換する。
- (2) 外径寸法 直径約0.8mφ×高さ約2.7m
- (3) 主要性能・仕様
 - ① 爆破処理ガス流量 1基あたり約60Nm³/h
 - ② 処理ガス温度 爆破生成ガス処理時：約900℃

●排ガススクラバ

- (1) 主要性能・仕様
 - ① 排ガス処理能力：650Nm³/h
 - ② 洗浄液組成：苛性ソーダ水溶液



南京廃棄処理事業 ～廃棄処理作業の流れ～



南京における廃棄事業 ～処理対象化学兵器～

| 区 分 | | 名 称 | 写 真 |
|----------------|-------------|---|---|
| びらん剤 | 砲 弾 | 90mmきい 弾 |  |
| くしゃみ剤 (嘔吐剤) | | 75mmあか 弾 |  |
| | 90mmあか 弾 |  | |
| | 有毒発 煙筒 | 中あか筒等 |  |

南京における廃棄事業 ～OPCWとの関連～

<根拠>

化学兵器禁止条約

<実施事項>

1 申告

- (1) 発掘回収した遺棄化学兵器
定期的(原則半年ごと)に申告
- (2) 廃棄処理した遺棄化学兵器
申告(時期については今後調整)

2 査察

- (1) 現地調査、発掘・回収及び保管庫
 - 現地調査、発掘・回収の査察は年2回
 - 保管庫査察は毎年2箇所(計4回)の査察を2回(計4回)
- (2) 廃棄処理施設
 - 日本・中国・OPCWの3者で「合意された検証のための詳細な計画」及び「施設協定」を作成し、これに基づき査察を実施
 - 南京処理施設の査察
 - ・ 廃棄処理開始前(9月)に冒頭訪問
 - ・ 廃棄処理開始後(22年10月及び23年)に査察予定